

平泉藤原氏の時代、当地域は、その一門である樋爪氏の支配下にあった。樋爪の苗字は居住地の地名に拠ったもので、「比爪」あるいは「肥爪」・「火爪」とも書き、いずれも後世の「日詰」と同訓である。樋爪館を本拠とし、志波郡の西部を領して権威があったようである。

—「紫波町史(第1巻)」1972 紫波町発行—

◎ 本年度最後の樋爪館遺跡めぐり・・・

5月8日、地域の皆さんの協力で、五郎沼東南部の経塚跡に登る階段が設置され、周回路が完成しました。これを記念して当懇話会では、本年度4回の“遺跡めぐり”を計画・実施してきました。11月が最終回になります。大切な郷土の歴史遺産を再認識するため、本年度最後の樋爪館遺跡めぐりに、ぜひ参加加してみてくださいは如何でしょうか。

《《《 10～11月行事予定のお知らせ 》》》

10月17日 (水曜日)	第36回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：古代の道(一)
11月4日 (日曜日)	—五郎沼周回路完成記念— 樋爪館遺跡めぐり 《本年度最終回》 新しく周回コースに入った蛇の塚(経塚)から秀麗な岩手山の姿が遠望できます。	午前8時30分 JR日詰駅(賢治歌碑前)集合 ～樋爪館周辺説明板～遺跡出土箇所説明板～大莊嚴寺跡擬定地～五郎沼薬師神社～阿弥陀堂～箱清水石卒都婆群～古代蓮の池～五郎沼説明板～山吹川～五郎沼南端～蛇の塚(経塚)跡～嶋の堂観音～夜泣き石～清水端～古碑～樋爪館大溝跡～樋爪館跡標示板～ 赤石小学校・日詰駅 午前11時30分散散予定(全行程約2km) 参加料300円(資料代込み) 雨具・飲み物等持参
11月21日 (水曜日)	第37回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：桜井芳彦 テーマ：比爪館の発掘調査(三)

—?—?—?—?—?— 樋爪氏 / 樋爪館 —?—?—?—?—?—

Part 5

(5) 名前の由来と島の堂千手観音

この沼では俊衡の弟・五郎季衡(すえひら)がよく泳いだと伝えられ、名前の由来となっています。樋爪氏も五郎沼に船を浮かべて酒を飲み、平安貴族のようなことをしていたのでしょうか。大正14年の冬に、大規模な沼の浚渫(しゅんせつ)作業が行われましたが、かつて樋爪氏が捨てたと思われる、大量のかわらけ(素焼きの酒杯)や刀なども見つかりました。

見つかった器の状態も原型に近いものが多く、12世紀に作られた器の混じった土で、後世になって沼が作られたものではないかということの証左になったと言われています。当時の貴族は、酒盛りで使った盃を何度も使わず、その都度捨てていたといえます。

かつては沼に観音島という中島があり、そこに、当国三十三観音六番札の「島の堂千手観音」があったといわれています。

藩政時代になるとすでに中島ではなくなり、「観音は五郎沼より15間西の谷地にあり」と文書に記されています。参拝する巡礼者が難儀をしていたことから、享保元(1716)年、お堂を現在地に移築したそうです。国道4号を挟んだ五郎沼南端の向かい側で、今も大切に守られています。

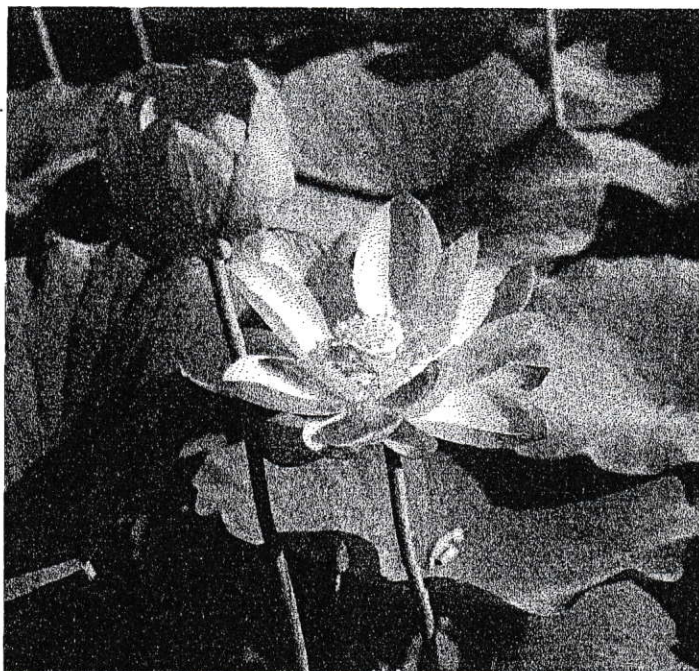
鶴、白鳥、カモ、白サギなどが飛んできた五郎沼は、南部藩時代には役人が配置され、捕獲や管理などをしていたといえます。こうした鳥は幕府などへの貴重な献上品でした。

(6) 樋爪館の寺社—— (次号につづく)

金色堂に眠る三代秀衡の棺の中に納められていた四代泰衡の首桶から発見されたハスの種が、中尊寺の方々の尽力と現代技術によって800年の時を超え蘇ったものです。

平成14年5月28日に、中尊寺から五郎沼にだけ株分けされました。いわば里帰りをした古代ハスは年々勢いを増し見事な花を見せています。

この種は、陣ヶ岡に晒された泰衡の首が平泉に移されるときに首桶に手向けられたと推定され、樋爪氏の地に咲き誇っていたハスのものだった筈です。



このごろの五郎沼をご覧になっていますか。咲き競っていたピンクの蓮の花の姿は既になく、黒い実を沈ませた茶褐色の果托が風に耐えて揺らいでいます。

栄枯盛衰。味わいのある風景の一つであると思います。

泰衡の首桶に、ゆかりの婦人が秘かに手向けたとも伝えられる蓮は、季節から考えて花ではありえません。

種子だけを入れたのでもなく、この写真にみられるように成熟した実を付けた、果托であったとも考えられます。

📖 樋爪館関連資料集第2号が完成しました !!

平成23年1月に発行した会員発表資料集に続く第2号(A4判98頁)が完成しました。内容は平成22年度月例会で会員が発表した資料「覺王寺と大日堂」「大莊嚴寺の背景」など23件です。

紫波町図書館や紫波町内の地区公民館そして県立図書館などでも等閲覧できます。非売品ですが入手を希望される方は下記に詳細をお問い合わせください。

電話 019-676-3999 (赤石公民館内 ひづめ館懇話会事務局)